

要 望 書

公益社団法人 日本医師会
会長 松本 吉郎 殿

日本医師会男女共同参画委員会
委員長 小泉 ひろみ

男女共同参画委員会では、令和7・8年度の活動として、「男女共同参画についての男性医師の意識調査」を実施し、5,121名から回答を得ました。その中で、「新専門医制度は男女ともにキャリア形成をするための配慮がなされていると思いますか」「医師の働き方改革が始まり、仕事と生活の調和がとりやすくなりましたか」という二つの設問を設けたところ、多くのご意見が寄せられました。

つきましては、これら現場の声を真摯に受け止め、「新専門医制度」及び「働き方改革」改善のための基礎資料として反映いただき、関係各所へ働きかけをお願いいたしたく、よろしくご高配のほどお願い申し上げます。

令和8年5月

添付資料

「新専門医制度に対する自由意見」・・・・・・・・・・・・・・・・・・1頁

「働き方改革に対する自由意見」・・・・・・・・・・・・・・・・・・3頁

「新専門医制度に対する自由意見」

調査結果では、新専門医制度は「男女ともにキャリア形成するための配慮がされているかわからない」という意見が59.7%で圧倒的に多く、「そう思う（配慮されている）」と答えたのは20.5%であった。また、「そう思わない（配慮されていない）」と回答した17.6%の回答には、「育児をしていると取得が困難」「症例登録など事務的な負担が大きい」「診療科による差が大きい」「引越しを余儀なくされる」「苦勞して取得するだけのメリットを感じない」などがあり、専門医を取得しない、諦めるという選択をとる医師が増えていくことが危惧される。

・生活との調和・ライフイベントへの配慮（180件）

カリキュラム制が一部のみでプログラム制が多い・いつでもキャリア復帰できるようにしてほしい・家庭の事情で必須項目が満たしにくい・結婚していると病院移動等で妻に無理がかかる・育児のため専門医維持が困難・中断の手続きが煩雑・中断後再開するのが大変・女性に不利・制度自体に女性登用のメッセージを感じない、など

・負担が大きい、無駄が多い、煩雑（178件）

J-OSLERの負担が大きすぎる・必要症例数が多すぎる・病院によって症例の集めやすさが異なる・時間外労働を強いられる・サービス残業が増える・レポート課題が多すぎる・無駄な作業が多い・システムが煩雑すぎる・わかりにくい、など

・変わらない・配慮は感じない（82件）

根本的な研修方法に変化がない・配慮は何も感じない・実感がない、など

・キャリアパスとして（43件）

キャリア変更しにくい・学生の延長のようなカリキュラム・インセンティブがな

い・取得しても給料は変わらない・キャリア形成のための制度ではない・領域により要件の差が大きい・浅く広くなり負担が増えた・締め付けばかりでメリットがない、など

・**時間の問題 (36 件)**

時間がかかる・期間の優遇措置がない・勤務時間の制限がある・常勤の要件があり時間拘束がネック、研修が長すぎて専門医取得前に出産育児で現場を離れる、など

・**勤務地の問題 (35 件)**

シーリングにより異動が多く病歴要約の負担も大きい・シーリングで勤務病院が限定される・週3同一施設の条件が厳しい・地域枠との相性が悪い・研修の場が制限され過ぎている・へき地勤務がある・大都市に偏りがある・ローテーションで引っ越しが必須・地方勤務が半ば強制、など

・**医師不足・偏在 (12 件)**

外科/内科が減っている・指導医不足、など

・**悪くなった (12 件)**

資格要件が面倒になった・専門医プログラムが限られたものしかなく以前のような柔軟性がなくなった・研修参加の義務が増えた・旧制度より取得しづらい・多忙さが加速・制度による締めつけ、取り込みが悪化した、など

・**その他 (78 件)**

指導医しだい・柔軟じゃない・柔軟な勤務体系を導入しづらい・不備が多い・現状に即していない・若い人のことばかり考えている・学会費等が高すぎる・利権まみれ・大学偏重・医局しだい・大学病院のような規模のところでは十分な研修プログラムを受けられない・融通がきかない・性差と関係ないのでは・性別の違いによる配慮はない・男女ともにキャリア形成する必要はない・科により考え方が異なる・足枷になっている、など

「働き方改革に対する自由意見」

調査結果では、働き方改革が始まり仕事と生活の調和がとりやすくなったという意見が半数以上（52.1%）ある一方で、「医師の長時間労働によって支えられていたところに、業務量の調整や人材投入をせず勤務時間を短くすることには無理がある」「労務管理や時間調整等で以前より雑多な業務が増え、その分のしわ寄せが管理職にきている」「労働時間を自己研鑽にしなければならない」「外勤ができず収入が減った」「もっと働きたくても働けない」という不満の声が上がっている。

・変化がない・変化を感じない（850件）

仕事量・患者数は変わらない・実感がない、など

・仕事が増えた・働きにくくなった（529件）

管理職/上級医の負担が増えた・一部の医師の負担が増えた・世代間格差が大きすぎる・労務管理が大変になった・以前より忙しい・仕事が増えた・今のペースでは続けられないので医師を辞める・自由度が減った・休みにくい・無理に勤務時間を短縮するので質が下がった・意識が低下した・若い人が働かなくなった・もっと仕事をしたいののでできなくなった・不自由になった、など

・サービス残業の増加・収入の減少（178件）

時間外が自己研鑽になった・サービス残業が増えた・超過勤務をつけられなくなった・実際の勤務時間より少ない時間で申請することを強要される・残った仕事は勤務場所以外で働いている・仕事は変わらないが超過手当が減った・今まで業務だったものが自己研鑽になった・バイトができず収入が減った、など

・人手不足（101件）

当直明け帰宅による人員減・医師偏在・一人医局のため代わりがない・絶対数が足りない、など

・その他 (235 件)

柔軟な勤務体系は難しい・仕事量が多い・実態と異なる・改革になっていない・制約が多すぎる・宿直制度が悪用されている・完全シフト制にしないと不可能・時間合わせだけで支援がない・職場による差が大きい・制度が現実に即していない・仕事と生活調和を選択しないという考え方がない・タスクシフトが上手くできていない・元に戻すべき、など